

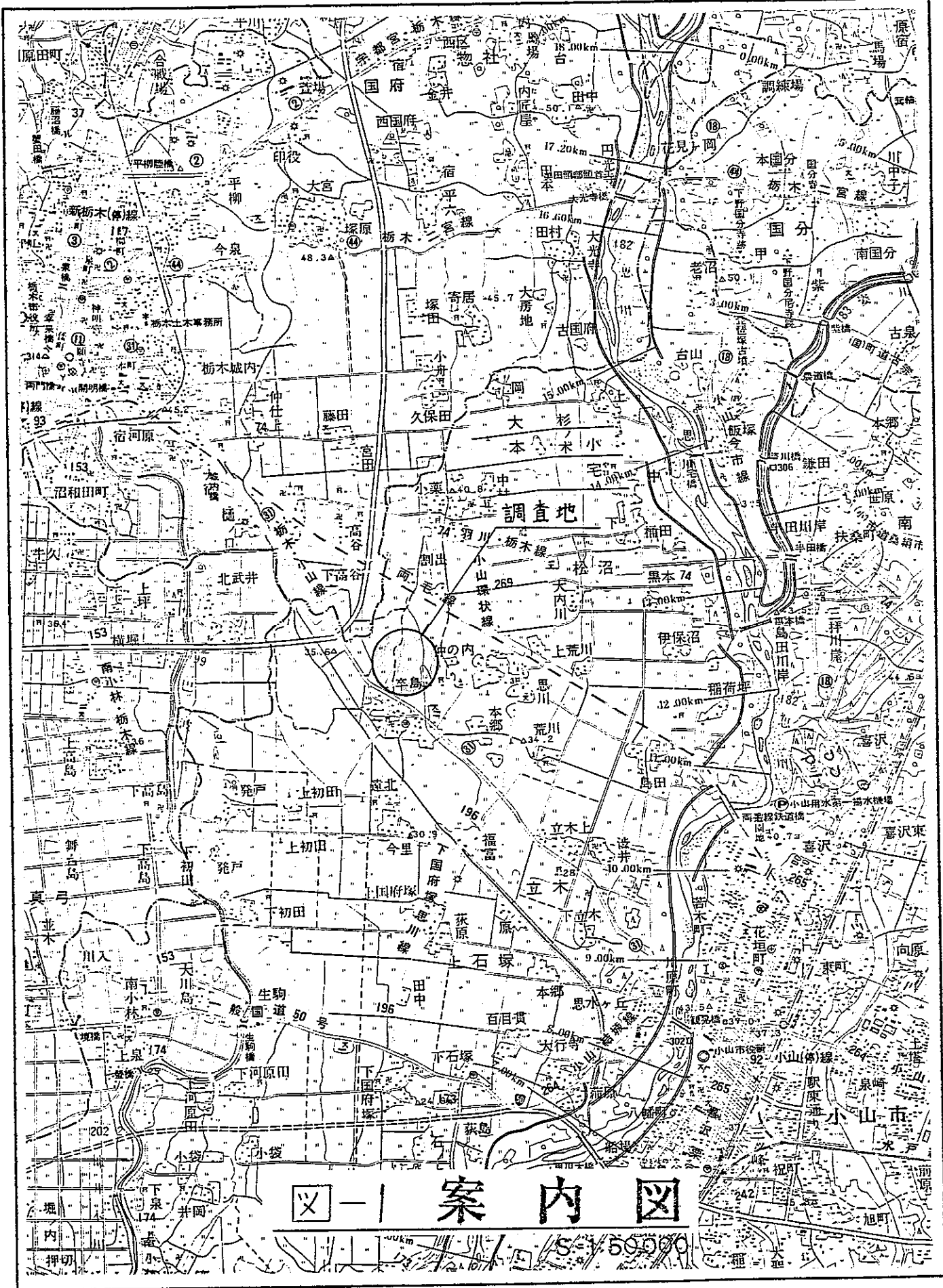
ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

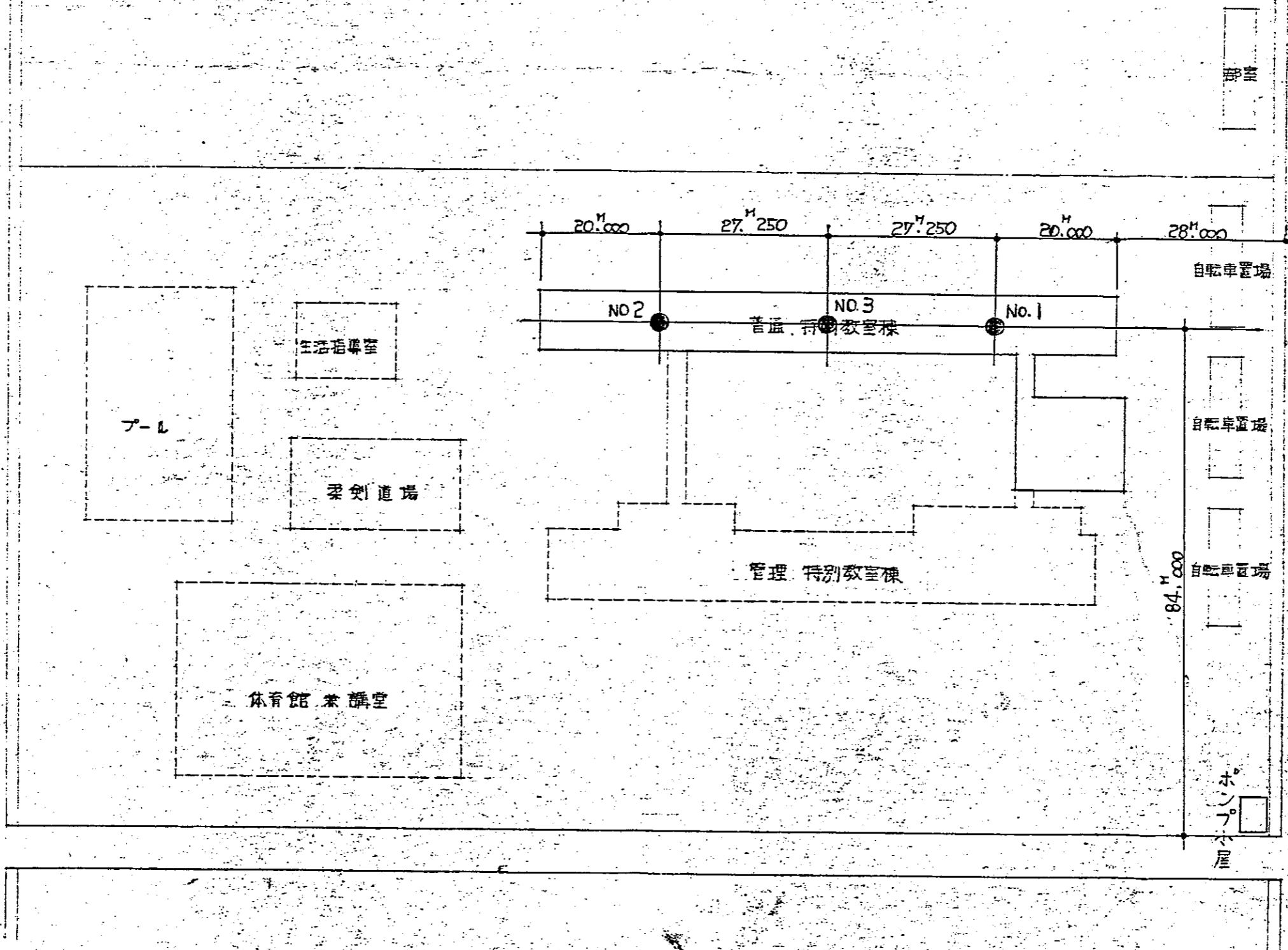
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課



図一 案内図



配置図-2 S = 1/800

調査地点 小山市大字松沼字七島737

標高 99.682 m

調査年月日 S.59年1月7日~ 年1月10日

ボーリング孔: No. 1

機種 カ/R-100

孔内水位 2.60 m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録			採取試料			標準			N 値	試験値	
				土質記号	土質名	色調	記事	試料番号	深さ m	採取方法	深さ m	10cmごとの打撃回数			10 cm
0															
1	98.182	1.20	1.20	X	表土	暗灰褐色	上部は黒土だが砂が多く軟弱である。粒径1/40程度程の砂。	P	1.15	P	1.15	20	6	7	7
2	98.082	1.60	0.40	砂	砂	暗灰褐色	粒径20~30%で固結した砂である。角礫・亜円礫が大半でよく締まっている。深度千附近はやや粒径が小さく、ゆるい状態である。深度5.8~6.9mでは透水が多い。	P	2.15	P	2.15	25	8	7	10
3									3.15	P	3.15	31	12	11	8
4					砂	暗灰色			4.15	P	4.15	16	7	6	3
5									5.15	P	5.15	37	8	10	19
6									6.15	P	6.15	30	6	9	19
7	92.782	6.90	5.80		粘土	暗緑色	上部には砂礫が混入している。泥質で含水比が大きく、軟弱である。	P	7.15	P	7.15	11	5	2	4
8									8.15	P	8.15	10	4	3	3
9	90.582	9.10	2.20		砂混り粘土	暗褐色	シルトに近い粘土であり砂も1/5程度混入している。	P	9.15	P	9.15	23	8	8	7
0	89.182	10.50	1.40		砂				10.15	P	10.15	29	12	7	10
1	88.182	11.50	1.00		砂	暗灰色	粒径0.4%程度で細粒であり、軟弱。	P	11.15	P	11.15	10	3	3	4
2	87.082	12.30	0.80		粘土	暗緑色	泥質で含水比が大きく軟弱である。	P	12.15	P	12.15	9	3	2	4
3	87.082	12.80	0.50		粘土	暗褐色	軟弱である。	P	13.15	P	13.15	50	19	16	15
4					粘土混り砂	暗褐色	粒径0~20%の礫が大半でよく締まっている。下部ほど粘性土の占める割合が減少する。	P	14.15	P	14.15	50	29	21	21
5	84.182	15.25	2.65		砂				15.15	P	15.15	50	50	50	50

備考

注) 試料採取方法の記号

T: シンワールサンプラー F: フォイルサンプラー
 P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー
 D: デニソン型サンプラー

